

2021 年 9 月入学

**龍谷大学**

**外国人留学生入学試験要項**

**For International Students  
For Entry In September 2021**

Ryukoku University

**Admission Guide**

## 出願の流れ

### 日本国内居住者

#### STEP1

##### ◎出願書類の準備

出願に必要な書類を確認・準備する。

#### STEP2

##### ◎受験料振り込み

e-apply から受験料を納入する。  
国内居住者の受験料振り込み方法は、e-apply を利用する方法のみとなります。  
入学検定料支払証明書を出願シートに貼り付ける。

#### STEP3

##### ◎出願書類提出

出願期間内に出願書類を郵送する  
(簡易書留・速達)。  
提出方法は郵送に限ります。

### 日本国外居住者

#### STEP1

##### ◎出願書類の準備

出願に必要な書類を確認・準備する。

#### STEP2

##### ◎受験料振り込み

**パターン1 .**  
e-apply を利用した受験料納入  
(国外居住者はクレジットカード決済のみ利用可)  
入学検定料支払証明書を出願シートに貼り付ける。

**パターン2 .**  
金融機関からの日本円送金による  
受験料納入

#### STEP3

##### ◎出願書類提出

**パターン1 .**  
出願期間内に出願書類を郵送する  
(簡易書留・速達)。  
提出方法は郵送に限ります。

**パターン2 .**  
出願期間内に出願書類を郵送する  
(EMS)。  
提出方法は郵送に限ります。

詳細は、入試要項を確認してください。

---

## 目 次

龍谷大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	3
募集人員（9月入学）	6
外国人留学生入試スケジュール（9月入学）	7
学費・諸会費	8
共通事項	
■ 出願書類	10
■ 出願書類送付先	10
■ 受験料・納入方法	10
■ 感染症（インフルエンザ等）による受験料返還について	11
■ 合格発表	11
■ 入学手続	11
■ 授業料等返還制度	12
■ 注意事項	12
入学試験要項	
■ 正規留学生 大学1年次入学 学科試験方式	13
■ 正規留学生 大学院 学科試験方式	15
■ 正規留学生 大学院 書類審査方式	20
■ 特別留学生 学科試験方式	26
■ 特別留学生 書類審査方式	27
奨学金制度について	31
問い合わせ先一覧	33

---

## 大 学 案 内

1639年に創立された龍谷大学は日本で最も伝統ある大学のひとつであり、現在3つのキャンパスに9学部、10研究科および短期大学部、留学生別科を擁する総合大学です。約20,000名の学生のうち留学生は約450名です。特に国際学部では1学年に30名の留学生定員を設け、積極的に留学生を受け入れています。また創立以来の歴史と伝統に加え、革新的材料・プロセス研究センター、古典籍デジタルアーカイブ研究センターなど、最先端の研究施設を設置し、広い視野をもつ国際人の養成につとめています。

### 奨学金・授業料40%減免

龍谷大学外国人（留学生）学費援助奨学金制度（授業料の40%減免）を実施しています。このほか本学独自の奨学金、文部科学省、地方自治体、民間団体等の各種奨学金に応募することができます（詳細は31ページを参照してください）。  
在留資格認定証明書の代理申請

現在国外在住の出願者で、経費支弁者や親族などの代理人が日本国内にいない場合、経費の自己負担が可能であり、かつ所定の証明書にてそのことを証明できる留学生に限り、大学が1回のみ代理申請します（詳細は別冊「入国・在留資格に関する手続」を参照してください）。

### 留学生宿舎

現在本学の留学生宿舎は3カ所あり約150人が入居できます。これらの宿舎には日本人の学生がアドバイザーとして入居し、生活・学習などについて助言しています。留学生宿舎の入居申請書は合格通知書に同封します。

### 外国人留学生の在留資格について

本学の外国人留学生が、龍谷大学外国人（留学生）学費援助奨学金等を申請するためには「出入国管理及び難民認定法」における「留学」の在留資格を有する必要があります。その他の在留資格（「日本人の配偶者等」「定住者」など）により滞在する場合は、龍谷大学外国人（留学生）学費援助奨学金、留学生対象奨学金（学習奨励費）等を受けられませんのでご注意ください。

## ■龍谷大学 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

龍谷大学は、建学の精神に基づき、「真実を求め、真実に生き、真実を顕かにする」ことのできる人間を育成することを「教育理念・目的」として掲げています。この教育理念・目的に基づき、次の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を掲げています。

龍谷大学の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）は、価値観が多様化する社会において、本学の建学の精神を体現するための意欲と各学部での教育に必要な適性を有した学生を、幅広く受け入れることを基本とします。

各学部は、龍谷大学の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）のもと、各学部それぞれの卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針に基づき、各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を定めるとともに、各入学試験を設定しています。

### 各学部・研究科の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

#### ○法学部

法学部では、日本国憲法の理念を基礎に、法学と政治学の教育・研究を通じて、広い教養と専門的な知識をもって主体的に行動し、鋭い人権感覚と正義感のもとに自ら発見した問題を社会と連携して解決できる、自立的な市民の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 現代社会に生起する諸問題に広く関心を有するとともに、その解決に取り組む意欲を有する人
- 2) 問題を論理的に分析する能力や、自らの意見を論理的に表明する能力を有する人
- 3) 自ら問題を発見し、それについて自ら考え、行動する能力を有する人

#### ○国際学部

国際学部では、異文化への理解を深めるとともに、自文化についての発信力を養い、グローバル化が加速する時代において、柔軟な思考と批判的精神をもって対応できるコミュニケーション能力、問題解決能力及び倫理観を備えた人間の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) グローバル化が加速する時代の動向に強い関心と好奇心を有し、学部の教育理念を深く理解し、強い意欲をもって学んでいこうとする人
- 2) 異文化に対して寛容かつ柔軟に対応でき、国際的に貢献したいという明確な目的意識をもった人
- 3) 英語をはじめとする外国語の能力が高く、さらなる向上を目指す人

したがって、高等学校等での学習では、入学までに必要な基礎学力として、様々なコミュニケーションを行う上での基本ツールとなる英語、国語を中心として、国際学部で教育を受ける上で基本となる地理・歴史等、社会や文化に関連する科目を幅広く勉強し、併せて日頃から国内外の社会の動向に関心を持つことを望みます。

#### ○法学研究科

##### <修士課程>

修士課程では、広い視野に立った深い学識と専攻分野における研究能力を育むことを通じて、研究者及び高度の専門性を要する職業人に必要な能力を涵養するという目標に照らして、次のような人を求めている。

大学における4年間の学修によって獲得された一般的教養と専門的教養の基礎の上に、さらに深い学識を得て、研究者及び高度の専門性を有する職業人になりたいと考える人

専攻分野における研究を進め、高度の専門性を要する職業上の実践にその専門性を発揮したいと考える人  
世界と地域において協働を育み、共生（ともいき）社会の発展のための理論構築や実践を進めたいと考える人

##### <博士後期課程>

博士後期課程では、専攻分野において自立して研究活動を遂行し、職務を実践することができる研究者及び高度な専門知識を有する専門職業人の養成をめざして、次のような人を求めている。

修士課程における学修により培われた深い学識と研究能力を基礎に、専攻分野において自立して研究活動を遂行できる研究者になりたいと考える人

専攻分野における研究を進め、高度の専門性を要する職務の実践においてその専門性をいかして、職務上の課題を発見し、問題を解決する能力を獲得したいと考える人

現代社会が抱える複雑な諸問題について、その課題を発見、分析、解決し、具体的な解決案を提示して、世界、地域の構成員と協働して、現実の問題を解決することができるようになりたいと考える人

#### ○経済学研究科

##### <修士課程>

修士課程では、研究者に求められる世界に対する理解と理論構築や応用分析の能力を養い、あるいは高度職業人に必要とされる高邁な理想と学問的知識に裏打ちされた実践能力を育てることを目指しており、次のような人を求めている。

世界と地域社会の平和と発展に貢献することを志し、受験資格を満たし、強い勉学意欲と、潜在力を持つ人

国際水準の研究あるいは高度な実務能力を持つエコノミストたらしめとする人  
公共的な活動（公的部門・営利部門あるいは非営利部門を問わない）においてリーダーを目指す人  
活発で刺激的な学習環境をつくるため、経済学既習者以外にも門戸を開き、多様なバックグラウンドを持つ人を歓迎する

<博士後期課程>

博士後期課程では、国際水準の研究をおこなう研究者の養成を通じて、世界と地域社会の平和と発展に貢献することを目的とし、次のような人を求めている。

世界と地域社会の平和と発展に貢献する意思のある人  
世界に対する深い理解を持つ人  
理論的知識と応用分析の基礎的な能力を持つ人  
国際水準の研究を実現する潜在力のある人

○社会学研究科

◇社会学専攻

<修士課程>

修士課程では、複雑で多様な現代社会の諸問題を分析できる社会的な学識と能力を有する専門社会調査士や職業ジャーナリストのような高度専門職業人および研究者を育成することを目的とし、現実社会に対応した研究能力と幅広い実践能力をもつ人材を養成するため、次のような人を求めている。

様々な現代社会の諸問題を、社会的視点から研究したいと考えている人  
社会学理論と社会調査法についての基礎的な知識や能力を有する人  
社会学理論や社会調査の知識や能力を実践的に活かせる職場への就職、また職業ジャーナリストを目指している人

◇社会福祉学専攻

<修士課程>

修士課程では、現代社会における社会福祉学の専門性と実践性を兼ね備えた高度専門職業人および研究者を育成することを目的とし、現実の社会福祉問題に直結した研究能力と幅広い実践能力をもつ人材を養成するため、次のような人を求めている。

複雑な社会福祉問題を、社会福祉学的視点から研究したいと考えている人  
社会福祉学理論と社会福祉実践について基礎的な知識や能力を有する人  
高度専門職業人として社会福祉学的知識や社会福祉実践についての能力を実践的に活かせる場への就職を目指している人

○理工学研究科

<博士後期課程>

博士後期課程では、修得したさらに高度な専門知識と周辺分野での知識を活用して社会に貢献すると共に、科学技術のあるべき道に導くことができる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。  
自立して専門領域の研究活動を積極的に行うことができる人  
専門分野および周辺分野についての高度の知識を持っている人  
科学技術の発展に大いに貢献できる研究者を目指している人

○国際学研究科

◇国際文化学専攻

<修士課程>

相互依存が一層著しく進む現在の世界が直面する諸課題に対して、文化という観点から批判的に研究を遂行し、その研究で得られた知見を国際社会のなかで専門的かつ実践的に発揮できる人材を養成する。

そのため、次のような関心・目標等を持った人材を受け入れる。  
国際的な視点に立脚し、各自の専門性を活かした職業を担うために、国際文化研究の領域において意欲的に研究を進めようとする人  
日本、共生社会、言語文化、宗教文化、芸術・メディアなどに関するテーマを、国際的な視野に基づく学問の理論と方法論で研究することを旨とする人  
国際社会で自らの専門性や実践能力を示そうと志す人

<博士後期課程>

修士課程で身に付けた深い学識と研究能力、フィールドワークや研究遂行の過程で得た知見・技能・経験・高い外国語能力を土台とし、独創的で高度な水準の研究を行うことのできる自立した研究者、国内外の研究機関で活躍し、国際文化学の発展に貢献できる人材、多文化の共生する社会の実現に向けて学術的・実践的な側面から貢献できる人材を養成する。

そのため、次のような関心・目標等を持った人材を受け入れる。  
国際的および学際的な視点に立脚するとともに、自らの専門的知識に基づいて、国際文化研究の領域における新たな知の地平を切り開こうとする人  
大学院修士課程までの研究において、基礎的研究能力をすでに有していることを示せる人  
これまで十分解明されていない論点について、独自の学術的貢献を果たしたいという意欲を持つ人

#### ◇グローバルスタディーズ専攻

##### <修士課程>

グローバル社会の複雑な諸問題に関して深い問題意識をもって研究を遂行することによって、高い語学力や専門知識だけでなく、対話力、分析力・考察力、課題探求力といったグローバル人材に不可欠な資質能力を養い、将来、国際的な課題の解決や豊かな社会の創造に貢献できる人材を養成する。

そのため、次のような関心・目標等を持った人材を受け入れる。

グローバル化が急速に進展し、世界のさまざまな問題が一層複雑化するなかで、そのような諸課題の原因究明と解決方法の提案に向けて、意欲的に研究しようとする人

大学院研究科での研究を通じて、深い専門的知識、高い語学力や対話力、分析力や考察力といった課題探求力を培い、リーダーシップを発揮して国内外の社会において活躍したい人

##### <博士後期課程>

修士課程で身に付けた深い学識と研究能力、フィールドワークや研究遂行の過程で得た知見・技能・経験・高い外国語能力を土台とし、独創的で高度な水準の研究を行うことのできる自立した研究者、国内外の研究機関で活躍し、グローバルな舞台においてリーダーシップを発揮できる人材、グローバル化する国際社会の抱える諸問題の解決に学術的・実践的な側面から貢献できる人材を養成する。

そのため、次のような関心・目標等を持った人材を受け入れる。

国際学研究科修士課程グローバルスタディーズ専攻および言語コミュニケーション専攻の専門性を踏まえて、特に次のような人を求める。

大学院修士課程において関連分野の幅広い専門知識を修得するとともに、高度な学術的研究を行うために必要な自律的・主体的研究力を有している人

独自の視点から研究テーマを設定し、テーマの背景にある原因の究明と解決方法の提案に向けて意欲的に研究し、独自の学術的貢献を果たしたいという強い意欲を持つ人

大学院研究科での研究を通じて、高い語学力および深い専門的知識を培い、国内外の社会において研究者としてまた高度の専門的職業人として活躍したい人

#### ◇言語コミュニケーション専攻

##### <修士課程>

グローバル社会における言語コミュニケーションに関連する問題に関して深い問題意識をもって研究を遂行することによって、相互に関連を深める国際情勢を複眼的な視点から総合的・大局的に分析し、問題解決に向けて高い英語力・対話力をもって積極的に行動できるリーダーを育成する。

そのため、次のような関心・目標等を持った人材を受け入れる。

グローバル社会において、高い語学力・対話力をもってリーダーシップを発揮して活躍すると同時に、他者に対する理解力や寛容さあるいは柔軟性と批判的精神をもって、相互理解や多文化理解を積極的に推進したい人。

大学院研究科での研究を通じて、言語コミュニケーションに関わる専門的知識や技能を培い、将来、中学校・高等学校英語教員（専修免許）通訳・翻訳者などの高度の専門的職業人、あるいは研究者として、国内外の社会に貢献したい人

#### 研究科共同運営コース

〈地域公共人材総合研究プログラム（法学研究科・政策学研究科）〉（修士課程）

地域公共人材総合研究プログラムでは、大学院学生が備えるべき能力として、協働型社会の担い手に必要な実践的、実務的能力、世代・職業分野をこえてコミュニケーションできる能力、地域社会の潜在的力を引き出す分析能力と提言能力を挙げている。この観点から、次のような人を求めている。

協働型市民社会の担い手として、理論と実務を学び、地域社会の変革につなげたいと考える人

協働型市民社会を構成する人々がもつ多様な価値観の存在を意識し、多角的な視野をもち地域の課題に取り組む能力を身につけたいと考える人

専門に関わる経験あるいは知識をもち、理論と実務をつなぐ学修、研究環境において自ら能力を伸ばしたいと考える人

#### ○政策学研究科

##### <修士課程>

修士課程では、社会の持続可能な発展に貢献し、地域がかかえる具体的課題を解決することができる政策能力の修得を通じて、協働型社会を担う高度の専門的職業人や研究者を養成するため、次のような人を求めている。

人類的及び地域的課題の解決に取り組み、社会の持続可能な発展に貢献するために政策学を研究したいと考えている人

公共政策分野における高度の専門的職業人をめざす人、及び広く公共政策に関わる業務に携わりより専門性の高い能力を修得したいと考えている人

地方自治体やNPO等で働きながら、政策学を研究したいと志望する人

職場でのキャリアアップをはかり、実務の現場で必要なコミュニケーションやファシリテーションのスキル修得に高い関心を持っている人

## 募 集 人 員 (9月入学)

### ◆学部

募集学部・学科		募 集 人 員	
学部	学科	正規留学生 (1年次入学)	特別留学生
		学科試験方式	学科試験方式
法 学 部	法 律 学 科	5名※1	若干名
国 際 学 部	国 際 文 化 学 科	30名※2	若干名

- 1 外国人留学生 (4月入学) の募集人員を含みます。
- 2 外国人留学生 (4月入学)、帰国生徒特別 (4月入学、9月入学)、中国引揚者等子女特別入試の募集人員を含みます。

### ◆大学院修士課程・博士後期課程

募集研究科・専攻		募 集 人 員					
研究科	専攻	正規留学生				特別留学生	
		修士課程		博士後期課程		修士課程	
		試験種別		試験種別		試験種別	
		学科試験方式	書類審査方式 <small>※学科試験を課しません。</small>	学科試験方式	書類審査方式 <small>※学科試験を課しません。</small>	学科試験方式	書類審査方式 <small>※学科試験を課しません。</small>
法 学 研 究 科	法 律 学 専 攻	若干名	—	若干名	—	若干名	—
経 済 学 研 究 科	経 済 学 専 攻	若干名	若干名	若干名	若干名	—	—
社 会 学 研 究 科	社 会 学 専 攻	—	—	—	—	—	若干名
	社 会 福 祉 学 専 攻	—	—	—	—	—	若干名
理 工 学 研 究 科	数 理 情 報 学 専 攻	—	—	若干名	若干名	—	—
	電 子 情 報 学 専 攻	—	—	若干名	若干名	—	—
	機 械 シ ス テ ム 工 学 専 攻	—	—	若干名	若干名	—	—
	物 質 化 学 専 攻	—	—	若干名	若干名	—	—
	情 報 メ デ ィ ア 学 専 攻	—	—	若干名	若干名	—	—
	環 境 ノ リ ュ ー シ ョ ン 工 学 専 攻	—	—	若干名	若干名	—	—
国 際 学 研 究 科	国 際 文 化 学 専 攻	若干名	若干名	若干名	若干名	—	—
	グ ロー バ ル ス タ デ ィ ー ズ 専 攻	—	若干名	—	若干名	—	—
	言 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 専 攻	若干名	若干名	—	—	—	—
政 策 学 研 究 科	政 策 学 専 攻	若干名	—	—	—	—	—

# 外国人留学生入試スケジュール（9月入学）

募集人員・  
外国人留学生  
入試スケジュール

## ◆学部

学部	学生種別	試験種別	出願期間	1次審査 結果通知	2次審査日 試験会場	合格発表日	入学手続期間 (納入金)
法学部	正規留学生 1年次	学科試験方式	国外：2021年 4月21日 ～4月30日 <締切日必着> 国内：2021年 5月10日 ～5月19日 <締切日消印有効>	国外： 出願締切日から 約3週間後 国内： 2次審査日の 約1週間前	2021年 6月19日 龍谷大学 深草キャンパス	2021年 7月3日	2021年 7月3日～ 7月9日 まで 一括納入 国外居住者は 7月16日 まで
	特別留学生						
国際学部 国際文化学科	正規留学生 1年次						
	特別留学生						

## ◆大学院修士課程

研究科	学生種別	試験種別	出願期間	1次審査 結果通知	2次審査日 試験会場	合格発表日	入学手続期間 (納入金)
法学研究科	正規留学生	学科試験方式	国外：2021年 4月21日(水) ～4月30日 <締切日必着> 国内：2021年 5月10日(月) ～5月19日 <締切日消印有効>	国外： 出願締切日から 約3週間後 国内： 2次審査日の 約1週間前	2021年 6月19日 龍谷大学 深草キャンパス	2021年 7月3日	2021年 7月3日～ 7月9日 まで 一括納入 国外居住者は 7月16日 まで
	特別留学生	学科試験方式					
経済学研究科	正規留学生	学科試験方式 書類審査方式					
社会学研究科	特別留学生	書類審査方式					
政策学研究科	正規留学生	学科試験方式					
国際学研究科	正規留学生	学科試験方式 国際文化学専攻、 言語コミュニケーション 専攻のみ	国外： 出願締切日から 約3週間後 国内： 2次審査日の 約1週間前	2021年 6月19日 龍谷大学 深草キャンパス	2021年 7月3日	2021年 7月3日～ 7月9日 まで 一括納入 国外居住者は 7月16日 まで	
		書類審査方式 国際文化学専攻、 言語コミュニケーション 専攻は国外 居住者のみのみ					2021年 5月10日 ～5月19日 <締切日必着>

## ◆大学院博士後期課程

研究科	学生種別	試験種別	出願期間	1次審査 結果通知	2次審査日 試験会場	合格発表日	入学手続期間 (納入金)
法学研究科	正規留学生	学科試験方式	国外：2021年 4月21日 ～4月30日 <締切日必着> 国内：2021年 5月10日(月) ～5月19日 <締切日消印有効>	国外： 出願締切日から 約3週間後 国内： 2次審査日の 約1週間前	2021年 6月19日 龍谷大学 深草キャンパス	2021年 7月3日	2021年 7月3日～ 7月9日 まで 一括納入 国外居住者は 7月16日 まで
経済学研究科	正規留学生	学科試験方式 書類審査方式					
理工学研究科	正規留学生	学科試験方式 書類審査方式 国外居住者のみ					
		書類審査方式 国際文化学専攻 のみ					
国際学研究科	正規留学生	学科試験方式 国際文化学専攻 のみ	国外： 出願締切日から 約3週間後 国内： 2次審査日の 約1週間前	2021年 6月19日 龍谷大学 深草キャンパス	2021年 7月3日	2021年 7月3日～ 7月9日 まで 一括納入 国外居住者は 7月16日 まで	
書類審査方式 国際文化学専攻 は国外居住者の み	2021年 5月10日 ～5月19日 <締切日必着>	—					—



# 学費・諸会費

2021年9月入学学生の学費・諸会費は次のとおりです。

入学手続期間に入学時納入金（特別留学生は許可料および科目等履修料）を一括納入してください。

入学時納入金のうち、正規留学生の入学申込金は学部100,000円、大学院50,000円、特別留学生の許可料は15,000円です。「龍谷大学外国人（留学生）学費援助奨学生」の資格（31ページ参照）を有している私費外国人留学生は、下記の授業料が40%減免されます。

## 1. 正規留学生

### (1) 大学1年次入学生・3年次編転入学生

（単位：円）

		大学1年次入学生	
		法学部	国際学部 国際文化学科
学 費	入 学 金 <sup>1</sup>	260,000	260,000
	授 業 料（後期分）	380,500	403,000
	施 設 費（後期分）	0 <sup>2</sup>	0 <sup>2</sup>
諸 会 費	実 習 料（後期分）	—	5,000
	学 会 入 会 金	2,000	2,000
	学 会 費（後期分）	2,000	2,000
	学 友 会 入 会 金	4,500	4,500
	学 友 会 費（後期分）	1,500	1,500
	親 和 会 入 会 金	3,000	3,000
	親 和 会 費（後期分）	3,500	3,500
校 友 会 予 納 金	10,000	10,000	
合 計（入学時納入金）		667,000	694,500

1. 本学留学生別科出身者は、入学金を50,000円減免します。

2. 施設費は、年間260,000円ですが、入学時の負担軽減を図るため、1年次（入学後1年間）については、年間260,000円を減免しています。

3. 本学学部・短期大学部出身者は、入学金は不要です。

注1. 諸会費は、学会、学友会、親和会、校友会からの委託徴収金です。

2. 各学部等には、それぞれの学術研究の推進のために、専任教員、大学院生、学部学生等で構成する学会を設けています。その学会の会費として、入会金2,000円、学会費〔法学部・国際学部はそれぞれ年間4,000円〕を納入していただきます。

3. 学友会は、すべての学生によって構成され、学生の声を反映させながら学生生活の改善・向上に取り組んでいる学生自治会です。その会費として、入会金4,500円、学友会費3,500円（前期2,000円、後期1,500円）を納入していただきます。

4. 親和会は、学生の保護者をもって構成され、龍谷大学の発展に資し、あわせて会員相互の親睦を図ることを目的としています。その会費として、入会金3,000円、親和会費年間7,000円を納入していただきます。

5. 校友会は、龍谷大学および短期大学部を卒業した人等で、組織されています。終身会費として、40,000円納入していただくことが必要ですが、この会費のうち、10,000円を入学時に予納していただきます。なお、残額については、卒業年次に納入していただきます。

### (2) 大学院修士課程・博士後期課程入学生

大学院修士課程（法・経済・国際・政策学研究科）

（単位：円）

		法学研究科・国際学研究科・政策学研究科			経済学研究科		
		他大学出身者	本学学部出身者	本学研究科の課程出身者	他大学出身者	本学学部出身者	本学研究科の課程出身者
学 費	入 学 金	200,000	150,000	—	200,000	150,000	—
	授 業 料（後期分）	181,500	181,500	181,500	181,500	181,500	181,500
	施 設 費（後期分）	100,000	75,000	75,000	100,000	75,000	75,000
諸 会 費	学 会 入 会 金	2,000	—	—	2,000	—	—
	学 会 費（後期分）	2,000	2,000	2,000	1,500	1,500	1,500
	親 和 会 入 会 金	3,000	—	—	3,000	—	—
	親 和 会 費（後期分）	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
1	校 友 会 予 納 金	10,000	—	—	10,000	—	—
合 計（入学時納入金）		502,000	412,000	262,000	501,500	411,500	261,500

注1. 諸会費は、学会、院生会、親和会、校友会からの委託徴収金です。

2. 本学出身者のうち当該学部・研究科出身者以外の入学生は学会入会金2,000円を徴収します。

3. 校友会費（30,000円）は他大学出身者のみ修士課程2年次に納入していただきます。

4. 院生会費（1,000円）は次年度前期より納入していただきます。

大学院博士後期課程〈法・経済・国際学研究科〉

(単位：円)

		法学研究科・国際学研究科			経済学研究科		
		他大学修士課程出身者	本学学部出身者	本学研究科の課程出身者	他大学修士課程出身者	本学学部出身者	本学研究科の課程出身者
学 費	入 学 金	200,000	150,000	—	200,000	150,000	—
	授業料(後期分)	181,500	181,500	181,500	181,500	181,500	181,500
	施設費(後期分)	100,000	75,000	75,000	100,000	75,000	75,000
諸 会 費	学 会 入 会 金	2,000	—	—	2,000	—	—
	学会費(後期分)	2,000	2,000	2,000	1,500	1,500	1,500
	親 和 会 入 会 金	3,000	—	—	3,000	—	—
	親和会費(後期分)	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
	校友会予納金	10,000	—	—	10,000	—	—
	合 計 (入学時納入金)	502,000	412,000	262,000	501,500	411,500	261,500

- 注1. 諸会費は、学会、院生会、親和会、校友会からの委託徴収金です。  
 2. 本学出身者のうち当該学部・研究科出身者以外の入学生は学会入会金2,000円を徴収します。  
 3. 校友会費(30,000円)は他大学出身者のみ博士後期課程3年次に納入していただきます。  
 4. 院生会費(1,000円)は次年度前期より納入していただきます。

大学院博士後期課程〈理工学研究科〉

(単位：円)

		他大学修士課程出身者	本学学部出身者	本学研究科の課程出身者
学 費	入 学 金	200,000	150,000	—
	授 業 料(後期分)	235,500	235,500	235,500
	施 設 費(後期分)	140,000	105,000	105,000
	実験実習費(後期分)	71,800	71,800	71,800
諸 会 費	学 会 入 会 金	2,000	—	—
	学会費(後期分)	1,500	1,500	1,500
	親 和 会 入 会 金	3,000	—	—
	親和会費(後期分)	3,500	3,500	3,500
	校友会予納金	10,000	—	—
合 計 (入学時納入金)	667,300	567,300	417,300	

- 注1. 諸会費は、学会、院生会、親和会、校友会からの委託徴収金です。  
 2. 本学出身者のうち理工学部・理工学研究科出身者以外の入学生は学会入会金2,000円を徴収します。  
 3. 校友会費(30,000円)は他大学出身者のみ博士後期課程3年次に納入していただきます。  
 4. 院生会費(1,000円)は次年度前期より納入していただきます。

2. 特別留学生

(単位：円)

許 可 料	15,000
科 目 等 履 修 料	320,000
合 計 (入学時納入金)	335,000

# 共 通 事 項

## 出 願 書 類

1. 学部・研究科、試験種別により出願書類が異なります。  
出願する学部・研究科、試験種別に指定する書類を提出してください。
2. 所定の出願書類の他に、出願資格によっては、適宜必要書類の提出を求めることがあります。
3. いったん提出された出願書類は、返却しません。  
ただし、出身学校等において再発行できない書類に限り、原則として2次審査日（書類審査方式は合格発表日以降）に返却します。
4. 出願書類は黒色のボールペンではっきりと記入してください（消せるボールペンは不可）。修正する場合は、修正液・修正テープを使用するか、二重線で消して書き直してください。  
ただし、本人が記入する書類に限る。
5. 出願書類のうち、本学所定様式については、本学Webサイトよりダウンロードしてください。  
URL <https://www.ryukoku.ac.jp/admission/nyushi/foreign/>

### 個人情報の取り扱いについて

出願書類等に記入された個人情報は、受験票発行や可否結果通知等本学入学試験に関わる事項および個人を特定しない各種統計資料作成のために使用いたします。また、本人の同意を得ることなく第三者に個人情報を提供することはありません。

本学の個人情報保護への取り組みについては以下のホームページにてご確認ください。

<https://www.ryukoku.ac.jp/policy/privacy.html>

## 出 願 書 類 送 付 先

〒604-8799 中京郵便局留「龍谷大学入学試験願書受付センター」宛

[日本国内から出願する場合]

別紙「宛名ラベル」を貼った市販の封筒（出願書類を折らずに封入できるサイズ）にて、簡易書留・速達で郵送してください。

[日本国外から出願する場合]

国際スピード便（EMS）等、最も確実かつ早い郵便等で郵送してください。

## 受 験 料 ・ 納 入 方 法

正規留学生受験料 35,000円 特別留学生受験料 10,000円

納入方法・納入期限は次のとおりです。納入された受験料は返還いたしません。

	納入方法	納入期限
国内居住者	専用サイト「e-apply」(イーアプライ)から納入	出願期間内 【厳守】
国外居住者	次のいずれかの方法で納入 専用サイト「e-apply」(イーアプライ)から納入 金融機関から日本円送金で納入	

専用サイト「e-apply」(イーアプライ)から納入する方法

以下、専用サイトにアクセスし、納入手続きを行ってください。

e-apply URL <https://e-apply.jp/n/ryukoku-payment>



- ・クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy（ペイジー）対応の銀行ATMまたはインターネットバンキングでの納入が可能です（ただし、国外居住者はクレジットカード決済に限る）。なお、受験料35,000円のほかに払込手数料が必要です。
- ・支払方法の詳細については、別紙「専用サイト「e-apply」からの納入方法について」及びe-applyサイト内に記載されている説明事項を必ずご一読ください。
- ・支払い期限は、e-applyサイトへの入力後4日以内（入力日を含む）です。但し、出願期間締切日3日前以降にe-applyサイトに入力した場合の支払期限は、出願締切日の23時59分までとなりますので注意してください。
- ・決済後、e-applyサイトの「登録内容確認画面」から「入学検定料支払証明書」をプリントアウトし、出願シートに貼付してください。

## 金融機関から日本円送金で納入する方法【国外居住者に限る】

この支払い方法は国外居住者に限り利用できます。

日本国外から送金される場合は、以下の点にご注意ください。

送金にかかる手数料は、すべて依頼人にてご負担いただきます。その金額は国や金融機関によって異なります。

送金額に不足がある場合は、不足分が納入されるまで受験票は発行しませんのでご了承ください。また、不足分の納入がなく出願が許可されない場合も、返金はできませんのでくれぐれもご注意ください。

指定口座：三菱UFJ銀行京都駅前支店

銀行TEL：075-371-2171

普通預金：口座番号0300140

名 義：学校法人龍谷大学

MUFG Bank, Ltd. Kyoto-Ekimae Branch

Bank Address : 614, Higashi-Shiokojicho,  
karasumanishi-iru, Shiokoujiodori,  
Shimogyo-ku, Kyoto 6008216, Japan

Bank TEL : +81-75-371-2171

Bank Swift Code : BOTK JP JT

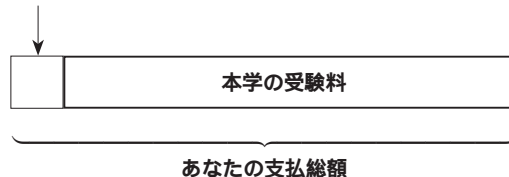
Bank Number : 0005-434

Account Type : Ordinary

Account Number : 0300140

Account Name : Board of Trustees, Ryukoku University

日本国外での  
送金金融機関の手数料



## 感染症（インフルエンザ等）による受験料返還について

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ・はしか等）にかかり、治癒していない場合、その感染症が他の受験生や監督者に拡がるおそれがありますので、原則として入学試験の受験をご遠慮願います。

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ・はしか等）にかかり、治癒していないために本学入学試験を欠席する場合は、当該入学試験（欠席日分）にかかる受験料を返還いたしますので、本学HP(<https://www.ryukoku.ac.jp/admission/nyushi/syutsugan/henkan2.html>)で手続きを確認し、各自行ってください。

なお、書類審査方式は、受験料返還の対象となりません。

## 合格発表

1. 合否結果は合格発表日に本人宛に特定記録・配達（日本国外居住者はEMS）で発送します。
2. 合否結果に関する電話での問い合わせには一切応じられません。

## 入学手続

合格者には、合格通知書とともに入学時までに必要な提出書類と手続方法を通知します。

所定の期日までに入学手続（入学時納入金の納入および手続書類の提出）を完了してください。

入学時納入金について

入学手続期間に入学時納入金（特別留学生は許可料および科目等履修料）を一括納入してください。

入学時納入金のうち、正規留学生の入学申込金は学部100,000円、大学院50,000円、特別留学生の許可料は15,000円です。この入学申込金（許可料）は本学の入学を辞退された場合も返還しません。入学手続完了後の入学辞退・授業料等返還制度については、下記を参照してください。

正規留学生の学費および諸会費については8～9ページ、特別留学生の科目等履修料については9ページを参照してください。

口座は受験料振込先と同じです。（10ページの「受験料・納入方法」を参照してください。）

---

## 授業料等返還制度

---

全ての入学手続完了後、入学を辞退される場合は、2021年9月16日（木）15：00まで（提出書類必着）に手続をしてください。手続方法は合格者に送付する「入学ハンドブック」でご確認ください。

---

## 自然災害等による災害救助法適用地域居住の被災者を対象とした特別措置

---

龍谷大学では、被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学のための機会確保を図るために、災害救助法適用地域居住の被災者を対象とした特別措置を設けています。特別措置の適用を希望される受験生は、出願等の手続をする前に入試部へ必ずご連絡ください（特別措置の詳細については、龍谷大学Webサイトをご参照ください）。

---

## 注意事項

---

出願後の出願学部(研究科)・学科(専攻)の変更はできません。

出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。

書類審査方式における入学者が、入学後に大学院生としての学力不足が明らかになった場合は、「退学勧告」をすることもあります。出願者は、このことを熟慮の上、出願してください。

合格発表後に出願書類および入学手続書類等に虚偽の記載があることが明らかになった場合には、入学許可を取り消します。

龍谷大学入学試験では、身体等に障がいのある受験生のために受験上の配慮を行います。受験上の配慮を希望する受験生は、出願等の手続をする前に本学へ必ずご連絡ください。

試験中はすべて監督者の指示に従ってください。指示に従わないときは不正行為とみなし、全科目を無効とします。

新型コロナウイルスの感染拡大を起因とする社会情勢に鑑み、入試日程、試験内容等を変更する場合があります。変更がある場合は入試情報サイト等で随時お知らせします。

入国制限等により受験できない場合があります。なお、その場合は受験料から手数料を差し引いた額を返還します（書類審査方式は除く）。

# 正規留学生 大学1年次入学 学科試験方式

正規留学生とは、外国の国籍を有する者で、外国において所定の課程を履修し、学部の卒業を目的として入学する者です

## 出願資格

法学部 国際学部国際文化学科	<p>外国の国籍を有する者で、次のいずれかに該当する者</p> <p>外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（修了見込みの者）（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）</p> <p>「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者」とは、「外国の正規の学校教育における12年目の課程を修了した者」という意味です。</p> <p>外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した18歳以上の者。（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）</p> <p>外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者（修了見込みの者）。</p> <p>日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（修了見込みの者）。（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。）</p> <p>外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、パカロレア資格、GCEAレベルを保有する者。</p> <p>国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者（修了見込みの者）。</p> <p>本学学部教授会が同等の資格を有すると認めた者。</p>
-------------------	---

正規留学生  
大学1年次入学

（注）本学の講義は日本語で行われますので、講義が理解できるだけの日本語能力が必要です。

## 選考方法

募集学部	法学部 国際学部国際文化学科
選考方法	1次審査（受験資格審査）および2次審査（学科試験）を実施します。

### 1次審査（受験資格審査）

審査内容	出願書類に基づき受験資格の有無を審査します。 受験資格を有すると認められた場合のみ2次審査を受験できます。
結果通知	受験資格を有すると認められた場合は、受験票を交付します。 2次審査の際に必ず受験票を持参してください。 国外居住者で受験資格を認められた場合は、受験票と短期滞在査証申請用の「受験許可証」を発行します。 査証の申請に時間を要することがありますので、ご注意ください。

### 2次審査

学部	試験会場	説明	面接	備考
法学部 国際学部 国際文化学科 (指定校推薦者含む)	龍谷大学 深草キャンパス	10:10～10:30	10:30～	試験室は当日掲示します。 試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

合否判定：日本留学試験の成績・面接および出願書類を総合して、合否を判定します。1科目でも欠席（日本留学試験の各学部の定める科目の未受験を含む）した場合は、その試験日を欠席扱いとし、合否の判定対象となりません。

## 出願書類 出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。

### (1) 入学願書(本学所定用紙)

出願者本人が日本語で正確に記入してください。

出願者氏名は、住民票またはパスポートに記載されている名前を記入してください。

### (2) 出願シート(本学所定用紙)

・出願入試区分、出願学部・学科コードは29ページの「コード一覧」をご確認ください。

・国籍コードは30ページの「国籍コード一覧」をご確認ください。

大学から出願者本人への連絡は、この出願シートに記入された内容により行いますので間違いのないように記入してください。入学願書の記入内容と相違がないように注意してください。

写真の貼付が必要な箇所があります。

写真は入学が許可された場合には、学生証や教務情報等に使用します。本学を卒業するまで使用するのに相応しい服装とします(制服以外が望ましい)。

入学手続きの際に写真の差し替えが可能です。

入学後に、学生証の写真差し替える場合は、有償となります。

### (3) 卒業証明書・成績証明書(いずれも原本)

高等学校の卒業証明書・成績証明書を提出してください。

日本の大学に入学するための準備教育課程(文部科学大臣指定)を修了もしくは修了見込みの者は、修了(見込み)証明書も提出してください。

なお、学士またはそれ以上の学位の取得者で、その学位取得証明書を提出する場合、高等学校の卒業証明書・成績証明書の提出は不要です。

### 注意事項

卒業(修了)見込の場合、卒業(修了)見込証明書を提出してください。

成績証明書は、在学期間全ての成績を証明したものを提出してください。

大学等の高等教育機関に在学中の場合、在学証明書を提出してください。

日本語または英語以外で書かれている場合は、駐日外国公館・在外公館等の公的機関による法的翻訳または在籍校(日本語学校を含む)による公印つき翻訳(日本語または英語)を添付してください。

証明書のコピーは一切不可です。

「公証書」は不可です。

### (4) 「日本留学試験」(日本学生支援機構)の受験票(または成績通知書)の写し

各学部の定める「日本留学試験」のうち、いずれか1つを選んで提出してください。複数試験の提出や出願後の追加提出・変更は認めません。

各学部の定める科目をすべて受験してください。

学部	学部の定める「日本留学試験」	学部の定める受験科目
法学部	2019年度第1回(6月実施) 2019年度第2回(11月実施)	・日本語(マーク+記述) ・総合科目
国際学部国際文化学科	2020年度第2回(11月実施)	・日本語(マーク+記述) ・総合科目又は数学(コース1)

### (5) 推薦書(本学所定用紙 様式A)(国際学部国際文化学科出願者のみ)

最終出身学校の学校長(学長)または出願者の学力に詳しい教員(日本語学校教員も可)によるものに限ります(推薦者が厳封のこと)。出願時に本学(留学生別科を含む)に在学中の外国人留学生は提出不要です。

### (6) 学校長推薦書(国際学部指定校推薦者のみ)

指定校の学校長によるものに限ります。(5)の推薦書(本学所定用紙)も併せて提出してください。

この場合、(5)の推薦書(本学所定用紙)は出願者の学力に詳しい教員(日本語学校教員も可)によるものに限ります。なお、指定校推薦については専願制となります。

### (7) 住民票の写し

日本国内居住者のみ提出してください。「国籍」「在留資格」「在留期間」「在留期間の満了日」「在留カード番号」が記載されるよう、発行元に依頼してください。試験実施日が在留期間満了日より前であるものに限ります。

世帯については「世帯全員」「世帯一部」のどちらを選択しても構いません。

# 正規留学生 大学院 学科試験方式

大学院正規留学生とは、外国の国籍を有する者で、外国において所定の課程を履修し、大学院の修了を目的として入学する者です

## 出願資格

法学研究科・経済学研究科・政策学研究科

外国の国籍を有する者で、学校教育における16年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む）を修了した者（修了見込みの者）または大学の学部と同等の教育機関を修了した者（修了見込みの者）

自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者

外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）

外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者

日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。）

外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEAレベルを保有する者

国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者を含む。

\* 経済学研究科では、上記に加え、外国における15年間の教育課程（中国3年制大学卒業を含む）を修了した者が、本学経済学部の特例留学生として1年間在籍し、32単位以上を履修した場合に限り、出願資格を認めています。但し、入学までに32単位以上を取得しなかった場合は入学許可を取り消します。

国際学研究科

<国際文化学専攻>

次の および を満たしている者

外国の国籍を有する者で、学校教育における16年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む）を修了した者（修了見込みの者）または大学の学部と同等の教育機関を修了した者（修了見込みの者）

自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者

外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）

外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者

日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。）

外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEAレベルを保有する者

国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者を含む。

本人の学歴、職歴ならびに予定されている研究内容に詳しい1名以上の推薦を得られる者

<言語コミュニケーション専攻>

外国の国籍を有する者で、学校教育における16年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む）を修了した者（修了見込みの者）

自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者

外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）

外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者

日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。）

外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEAレベルを保有する者

国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者を含む。

本人の学歴、職歴ならびに予定されている研究内容に詳しい2名以上の推薦を得られる者（本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要）

修士課程

大正  
規留  
学  
生  
学  
科  
試  
験  
方  
式



法学研究科・経済学研究科・国際学研究科国際文化学専攻  
 外国の国籍を有する者で、外国において所定の学校教育（原則として12年以上の課程）を修了（修了見込みの者）し、かつ高等教育機関で修士の学位を得た者（修了見込みの者）  
 理工学研究科  
 次の から すべてに該当する者。  
 外国の国籍を有する者で、外国において所定の学校教育（原則として12年以上の課程）を修了（修了見込みの者）し、かつ高等教育機関で修士の学位を得た者（修了見込みの者）  
 一定の日本語もしくは英語の能力を有する者  
 国費留学生奨学金またはこれに準ずる経費支弁を受けられる者

- 自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者
- 外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）
- 外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者
- 日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。）
- 外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEALレベルを保有する者
- 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者を含む。

注．本学大学院の各研究科委員会が上記出願資格と同等の資格を有すると認めた場合には受験を許可することがあります。

## 選考方法

募集研究科	法学研究科 経済学研究科 理工学研究科 国際学研究科 政策学研究科
選考方法	1次審査（受験資格審査）および2次審査（学科試験※）を実施します。 ※理工学研究科については口述試験

### 1次審査（受験資格審査）

審査内容	出願書類に基づき受験資格の有無を審査します。 受験資格を有すると認められた場合のみ2次審査を受験できます。
結果通知	受験資格を有すると認められた場合は、受験票を交付します。 2次審査の際に必ず受験票を持参してください。 国外居住者で受験資格を認められた場合は、受験票と短期滞在査証申請用の「受験許可証」を発行します。 査証の申請に時間を要することがありますので、ご注意ください。

### 2次審査

研究科		試験科目・試験時間		備考
法学研究科	修士課程	説明・書類記入 8:40～9:00	小論文（日本語） 9:00～10:30	口述試験 （出願書類・小論文を主としたもの） 10:45～
	博士後期課程			口述試験 （修士論文を主としたもの） 10:45～
経済学研究科	修士課程	説明・書類記入 8:40～9:00	日本語による小論文 9:00～10:15	口述試験 10:45～
	博士後期課程		日本語による小論文 国費留学生は免除 9:00～10:30	口述試験 修士論文あるいはそれに相当する 学術論文ならびに今後の研究 計画に関する口述試験 10:45～
理工学研究科	博士後期課程	説明・書類記入 12:40～13:00	口述試験 修士論文ならびに今後の研究計画に関する口述試験 （日本語または英語にて実施） 13:00～	
国際学研究科	修士課程	国際文化学専攻	日本語 11:30～13:00 辞書等の持ち込み不可	口述試験14:30～ （出願書類などを対象とします（30分程度））
		言語コミュニケーション専攻	口述試験 14:30～（30分程度）	
	博士後期課程 （国際文化学専攻）	説明・書類記入 11:10～11:30	外国語筆記試験 11:30～13:00 【英語・中国語・コリア語・フランス語・日本語から母語以外の1科目選択】 【出願時に届出】 試験当日の科目変更不可 辞書等の持ち込み不可	専門科目 口述試験 14:30～
政策学研究科	修士課程	説明・書類記入 8:40～9:00	小論文（日本語） 9:00～10:30	口述試験 （出願書類・小論文を主としたもの） 10:45～

試験室は当日掲示します。  
試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

合否判定：学科試験・口述試験および出願書類を総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日を欠席扱いとし、合否の判定対象となりません。

## 出願書類 出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。

- (1) **入学願書（本学所定用紙）**  
必ず出願者本人が日本語で正確に記入してください。  
出願者氏名は、住民票またはパスポートに記載されている名前を記入してください。
- (2) **出願シート（本学所定用紙）**  
(国際学研究科言語コミュニケーション専攻へ出願の国外居住者は本学所定の英語対応用紙を提出してください。)  
・出願入試区分、出願学部・学科、研究科・専攻コードは29ページの「コード一覧」をご確認ください。  
・国籍コードは30ページの「国籍コード一覧」をご確認ください。  
大学から出願者本人への連絡は、この出願シートに記入された内容により行いますので間違いのないように記入してください。入学願書の記入内容と相違がないように注意してください。  
写真の貼付が必要な箇所があります。  
写真は入学が許可された場合には、学生証や教務情報等に使用します。本学を卒業するまで使用するのに相応しい服装とします（制服以外が望ましい）。  
入学手続きの際に写真の差し替えが可能です。  
入学後に、学生証の写真を差し替える場合は、有償となります。
- (3) **卒業証明書・成績証明書（いずれも原本）**  
卒業証明書および成績証明書については、以下のとおり提出してください。

### 修士課程出願者

#### 出身大学の卒業証明書・成績証明書

国際学研究科出願者で、修士・博士後期課程の修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書及び成績証明書、博士後期課程満期退学者は、単位修得証明書も提出してください（原本）。

### 博士後期課程出願者

#### 出身大学の卒業証明書・成績証明書

国際学研究科出願者で現在、本学国際文化学研究科修士課程に在学中の方は、学部の卒業証明書・成績証明書は提出不要です。

#### 出身大学院修士課程の修了証明書・成績証明書

国際学研究科出願者で、博士後期課程修了（見込）者は、博士後期課程の修了（見込）証明書及び成績証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位取得証明書も提出してください。

### 注意事項（修士課程・博士後期課程共通）

卒業（修了）見込の場合、卒業（修了）見込証明書を提出してください。

成績証明書は、在学期間全ての成績を証明したものを提出してください。

中国の大学または大学院を卒業（修了）した場合は、その卒業（修了）証明書に「中国高等教育学生信息网（学信網）」(<https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>)へ登録してダウンロードした「教育部學歷證書電子注冊備案表」のPDFファイルを印刷したものを添付してください。

中国の大学または大学院を卒業（修了）見込みの場合は、その卒業（修了）見込証明書に「中国高等教育学生信息网（学信網）」(<https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>)へ登録してダウンロードした「教育部学籍在線驗證報告」のPDFファイルを印刷したものを添付してください。

「公証書」は不可

日本語または英語以外で書かれている場合は、駐日外国公館・在外公館等の公的機関による法的翻訳または在籍校（日本語学校を含む）による公印つき翻訳（日本語または英語）を添付してください。

また、理工学研究科出願者は、英語または日本語の言語で発行された証明書を提出してください。

証明書のコピーは一切不可です。

### (4) 語学に関する書類

#### 法学研究科、経済学研究科、国際学研究科、政策学研究科修士課程の場合

「日本語能力認定書（本学所定用紙）」を提出してください。

以下のどちらかに該当する場合は、本学所定用紙の日本語能力認定書は不要です。

- ・「日本語能力試験」（公益財団法人日本国際教育支援協会／国際交流基金）1級またはN 1受験者  
本学所定用紙に代わり「日本語能力試験」1級またはN 1の可否を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」（コピー不可）を提出してください。
- ・日本の4年制大学卒業者（2021年9月卒業見込者を含む）

#### 理工学研究科の場合

以下のどちらかを提出してください。ただし、日本の4年制大学卒業者または、日本の大学院修士課程修了者は不要です。

- ・「日本語能力試験」（公益財団法人日本国際教育支援協会／国際交流基金）1級またはN 1の可否を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」（コピー不可）
- ・iBT80以上を証明出来るTOEFL®の成績表（コピー不可）

#### 国際学研究科博士後期課程の場合

- ・英語・日本語のうち、いずれかの言語の能力を証明するもの  
国籍に関わらず、どちらの言語も選択できます。

- (5) **英語力を示す外部テストのスコア** (国際学研究所修士課程言語コミュニケーション専攻出願者のみ)  
TOEIC L&R 730点、TOEFL (PBT) 550点または(iBT) 80点、IELTS™ 6.0のいずれかを満たすスコアを提出してください。  
TOEIC L&RおよびTOEFL (PBT、iBT)については、外部テストの試験日が、2019年4月1日以降のものに限ります(本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要。また、第一言語が英語の者、卒業(見込み)の高等教育における学習言語が英語の者は必要ありません)。TOEIC L&R IPテスト(オンライン含む)は含みません。  
TOEFL のスコアを用いる場合は、公式スコア票(Official Score Report)または受験者控用のスコアレポート(Test Taker Score ReportまたはExaminee Score Report)のいずれかを提出してください。  
TOEFL iBT テストはTest Dateスコアに限ります(「MyBest™ scores」は利用できません)。

- (6) **推薦書**(本学所定用紙 様式B)(経済・国際・理工学研究科出願者のみ)  
**経済学研究科の場合**  
最終出身学校の学校長(学長)または出願者の学力に詳しい教員(日本語学校教員も可)によるものに限ります(推薦者が厳封のこと)。  
出願時に本学(留学生別科を含む)に在学中の外国人留学生は提出不要です。

**理工学研究科の場合**  
本研究科専任教員による修士課程修了相当の学力認定を含むもの、および該当する本人の学力に詳しい大学教授またはそれに準ずる研究者(2名以上)によるもの各1通、合計3通以上。日本語もしくは英語

- 国際学研究所の場合** 国際学研究所出願者は様式自由
- ・修士課程国際文化学専攻  
推薦書1名分(様式自由)  
本人の学歴、職歴、ならびに予定されている研究内容に詳しい者が作成すること。
  - ・修士課程言語コミュニケーション専攻  
推薦書1名分(様式自由)  
本人の学歴、職歴、ならびに予定されている研究内容に詳しい者が作成すること。(本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要)
  - ・博士後期課程国際文化学専攻  
推薦書2名分(様式自由)  
本人の学歴、職歴、ならびに予定されている研究内容に詳しい者が作成すること。

- (7) **住民票の写し**  
日本国内居住者のみ提出してください。「国籍」「在留資格」「在留期間」「在留期間の満了日」「在留カード番号」が記載されるよう、発行元に依頼してください。試験実施日が在留期間満了日より前であるものに限ります。  
世帯については「世帯全員」「世帯一部」のどちらを選択しても構いません。

- (8) **経費支弁に関する書類**(理工学研究科出願者のみ)  
国費留学生奨学金等の採用証明書(コピー可)または3ヶ月以内に発行された銀行の残高証明書(130万円以上、コピー不可)

- (9) **研究計画書**(本学所定用紙)  
国際学研究所言語コミュニケーション専攻出願者は、日本語および英語各1部(本学所定の日本語および英語対応用紙)、希望指導教員(第一、第二希望)を記入してください。

- (10) **修士論文(コピー)・修士論文要旨**  
博士後期課程への出願者は以下の要領で提出してください。

法 学 研 究 科	修士論文の要旨および修士論文のコピー(修士課程修了見込の者は修士論文草稿)ただし公刊論文がある場合はそれを添付することができる。
経済学研究科	修士論文のコピー(修士課程修了見込の者は修士論文草稿)あるいはそれに相当する学術論文
理工学研究科	修士論文のコピーまたは修士論文に相当する学術論文(修士課程修了見込の者は修士論文草稿)を提出してください。 日本語による要旨(1,600字程度)、または英語による要旨(800words程度)を併せて提出してください。
国際学研究所	修士論文のコピー(国外居住者は2通、国内居住者は1通) なお、修士論文が未完成の場合は、現在作成中のもの。また、修士論文がない場合は、これに準じる論文または著作物 修士論文要旨 次の要領にて提出してください。(修士論文がない場合は、これに準じる要旨) 日本語の修士論文の場合、英語による要旨を400words程度 日本語以外の修士論文の場合、日本語による要旨(800字程度)、または英語による要旨(400words程度)

修士論文(コピー)は、仮綴じまたはファイルしたものを提出してください(国際学研究所は、仮綴じ等不要)。

- (11) **大学の卒業論文・卒業研究**(未完成の場合は現在作成中のもの)、またはこれまでに作成した学術的なレポートを1点(字数制限なし)。(国際学研究所修士課程出願者のみ)  
新規に作成していただいても構いません。  
国際文化学専攻出願者で、提出する論文等が日本語以外の場合は、日本語の要旨(様式自由、800字程度)も併せて提出してください。  
言語コミュニケーション専攻出願者は、日本語または英語に限ります。

- (12) **試験科目選択シート**(本学所定用紙)(国際研究科博士後期課程出願者のみ)

- (13) **出願票**(本学所定用紙)(国際学研究所出願者のみ)  
言語コミュニケーション専攻出願者は英語対応用紙使用

# 正規留学生 大学院 書類審査方式

大学院正規留学生とは、外国の国籍を有する者で、外国において所定の課程を履修し、大学院の修了を目的として入学する者です

## 経済学研究科

### 【修士課程】

以下の出願資格 もしくは に該当する者、または本学経済学研究科委員会が認めた者

#### 出願資格

次の から のすべてに該当する者。

外国の国籍を有する者で、学校教育における16年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む）を修了した者（修了見込みの者）または大学の学部と同等の教育機関を修了した者（修了見込みの者）

自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者

外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）

外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者

日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。）

外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEAレベルを保有する者

国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者を含む。

文部科学省等の公的機関から、国費留学生奨学金またはこれに準ずる経費支弁を受けられる者

本研究科専任教員を含め、本人の学力に詳しい大学教員、もしくはそれに準ずる研究者3名以上の推薦を得られる者

#### 出願資格

次の から のすべてに該当する者。

外国の国籍を有する者で、学校教育における16年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む）を修了した者（修了見込みの者）または大学の学部と同等の教育機関を修了した者（修了見込みの者）

自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者

外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）

外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者

日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。）

外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEAレベルを保有する者

国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者を含む。

日本語能力試験1級またはN1に合格した者

日本国外に居住し、本研究科留学生入学試験日に渡日するのが困難な者

本学と交流協定を締結している機関から推薦を得られる者、または本学専任教員の推薦を得られる者

注1 経済学研究科では、外国における15年間の教育課程（中国3年制大学卒業を含む）を修了した者が、本学経済学部の特別留学生として1年間在籍し、32単位以上を履修した場合に限り、出願資格を認めています。但し、入学までに32単位以上を取得しなかった場合は入学許可を取り消すことがあります。

注2 経済学研究科修士課程出願資格 および博士後期課程の選考については、日本語能力を不問としています。ただし、経済学研究科における英語による授業の開講は限定的なものであり、全科目の履修を保証するものではありません。したがって、推薦者と十分相談の上、修了要件を満たせる履修計画が立てられることを確認の上、出願してください。

なお、経済学研究科では、日本語、英語以外の授業には対応していません。

## 【博士後期課程】

### 出願資格

次の から のすべてに該当する者、または本学経済学研究科委員会が認めた者。

外国の国籍を有する者で、外国において所定の学校教育（原則として12年以上の課程）を修了（修了見込み）し、かつ高等教育機関で修士の学位を得た者（修了見込みの者）

文部科学省等の公的機関から、国費留学生奨学金またはこれに準ずる経費支弁を受けられる者

本研究科専任教員を含め、本人の学力に詳しい大学教員、もしくはそれに準ずる研究者3名以上の推薦を得られる者

自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者

外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）

外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者

日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。）

外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEAレベルを保有する者

国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者を含む。

\* 修士課程出願資格 および博士後期課程の選考については、日本語能力を不問としています。ただし、経済学研究科における英語による授業の開講は限定的なものであり、全科目の履修を保証するものではありません。したがって、推薦者と十分相談の上、修了要件を満たせる履修計画が立てられることを確認の上、出願してください。

なお、経済学研究科では、日本語、英語以外の授業には対応していません。

## 理工学研究科

## 【博士後期課程】

### 出願資格

次の から のすべてに該当する者、または本学理工学研究科委員会が認めた者。

外国の国籍を有する者で、外国において所定の学校教育（原則として12年以上の課程）を修了（修了見込み）し、かつ高等教育機関で修士の学位を得た者（修了見込みの者）

一定の日本語もしくは英語の能力を有する者

国費留学生奨学金またはこれに準ずる経費支弁を受けられる者

本研究科専任教員と、本人の学力に詳しい大学教員、またはそれに準ずる研究者の推薦を得られる者

出願時に日本国外に居住している者

自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者

外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）

外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者

日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。）

外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEAレベルを保有する者

国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者を含む。

【修士課程】

出願資格

<国際文化学専攻>

国際文化学専攻へ出願する場合は、日本国外に居住している者に限ります。

次の から のすべてに該当する者

外国の国籍を有する者で、学校教育における16年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む）を修了した者（修了見込みの者）または大学の学部と同等の教育機関を修了した者（見込みの者）

自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者

外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）

外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者

日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。）

外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEAレベルを保有する者

国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者を含む。

日本語能力試験1級またはN1に合格した者

本人の学歴、職歴ならびに予定されている研究内容に詳しい1名以上の推薦を得られる者

<グローバルスタディーズ専攻>

次の および を満たしている者

外国の国籍を有する者で、学校教育における16年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む）を修了した者（修了見込みの者）

自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者

外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）

外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者

日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。）

外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEAレベルを保有する者

国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者を含む。

本人の学歴、職歴ならびに予定されている研究内容に詳しい2名以上の推薦を得られる者（本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要）

<言語コミュニケーション専攻>

言語コミュニケーション専攻へ出願する場合は、日本国外に居住している者に限ります。

次の および を満たしている者

外国の国籍を有する者で、学校教育における16年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む）を修了した者（修了見込みの者）

自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者

外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）

外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者

日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。）

外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEAレベルを保有する者

国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者を含む。

本人の学歴、職歴ならびに予定されている研究内容に詳しい1名以上の推薦を得られる者（本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要）

## 【博士後期課程】

### 出願資格

国際文化学専攻へ出願する場合は、日本国外に居住している者に限ります。

#### <国際文化学専攻>

外国の国籍を有する者で、外国において所定の学校教育（原則として12年以上の課程）を修了（修了見込み含む）し、かつ、高等教育機関で修士の学位を得た者（取得見込みの者）

#### <グローバルスタディーズ専攻>

次の および を満たしている者

外国の国籍を有する者で、外国において所定の学校教育（原則として12年以上の課程）を修了（修了見込み含む）し、かつ、高等教育機関で修士の学位を得た者（取得見込みの者）

本人の学歴、職歴ならびに予定されている研究内容に詳しい2名以上の推薦を得られる者（本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要）

自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者

外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）

外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者

日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。）

外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEAレベルを保有する者

国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者を含む。

## 選考方法

出願書類等を総合的に判断して合否を判定します。

ビデオ通話により教員から研究内容などの確認を行うことがあります。本学と連絡を取ることができるメールアドレスを出願シートに必ず記載してください（国際学研究所言語コミュニケーション専攻出願者のみ）。

## 出願書類

出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。

### (1) 入学願書（本学所定用紙）

必ず出願者本人が日本語で正確に記入してください。

出願者氏名は、住民票またはパスポートに記載されている名前を記入してください。

### (2) 出願シート（本学所定用紙）

（国際学研究所修士課程グローバルスタディーズ専攻、言語コミュニケーション専攻出願者の国外居住者、国際学研究所博士後期課程グローバルスタディーズ専攻出願者は本学所定の英語対応用紙を提出してください。）

・出願入試区分、出願学部・学科、研究科・専攻コードは29ページの「コード一覧」をご確認ください。

・国籍コードは30ページの「国籍コード一覧」をご確認ください。

写真の貼付が必要な箇所があります。

写真は入学が許可された場合には、学生証や教務情報等に使用します。本学を卒業するまで使用するのに相応しい服装とします（制服以外が望ましい）。

入学手続きの際に写真の差し替えが可能です。

入学後に、学生証の写真を差し替える場合は、有償となります。

### (3) 卒業証明書・成績証明書（いずれも原本）

卒業証明書・成績証明書については、以下のとおり提出してください。

#### 修士課程出願者

出身大学の卒業証明書・成績証明書

国際学研究所出願者で、修士・博士後期課程の修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書及び成績証明書、博士後期課程満期退学者は、単位修得証明書も提出してください（原本）

#### 博士後期課程出願者

出身大学の卒業証明書・成績証明書

出身大学院修士課程の修了証明書・成績証明書

国際学研究所出願者で、博士後期課程修了（見込）者は、博士後期課程の修了（見込）証明書及び成績証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位取得証明書も提出してください。



注意事項（修士課程・博士後期課程共通）

卒業（修了）見込みの場合、卒業（修了）見込証明書を提出してください。  
成績証明書は、在学期間全ての成績を証明したものを提出してください。  
理工学研究科出願者は、英語または日本語の言語で発行された証明書を提出してください。  
中国の大学または大学院を卒業（修了）した場合は、その卒業（修了）証明書に「中国高等教育学生信息网（学信網）」（<https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>）へ登録してダウンロードした「教育部學歷證書電子注冊備案表」のPDFファイルを印刷したものを添付してください。  
中国の大学または大学院を卒業（修了）見込みの場合は、その卒業（修了）見込証明書に「中国高等教育学生信息网（学信網）」（<https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>）へ登録してダウンロードした「教育部学籍在線驗證報告」のPDFファイルを印刷したものを添付してください。  
「公証書」は不可  
日本語または英語以外で書かれている場合は、駐日外国公館・在外公館等の公的機関による法的翻訳または在籍校（日本語学校を含む）による公印つき翻訳（日本語または英語）を添付してください。  
証明書のコピーは一切不可です。

(4) 語学に関する書類

経済学研究科修士課程出願資格 の場合

「日本語能力試験」の1級またはN1日本語能力認定書

理工学研究科の場合

以下のいずれかを提出してください。ただし、日本の4年制大学卒業生または、日本の大学院修士課程修了者は不要です。

- ・「日本語能力試験」（公益財団法人日本国際教育支援協会／国際交流基金）1級またはN1の合否を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」（コピー不可）
- ・iBT80以上を証明出来るTOEFL®の成績表（コピー不可）

国際学研究科修士課程の場合（国際文化学、言語コミュニケーション専攻出願者のみ）

・「日本語能力試験」の1級またはN1の合格を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」

国際学研究科博士後期課程の場合（国際文化学専攻出願者のみ）

英語・日本語のうち、いずれかの言語の能力を証明するもの。

国籍に関わらず、どちらの言語も選択できます。

(5) 英語力を示す外部テストのスコア（国際学研究科言語コミュニケーション専攻・グローバルスタディーズ専攻出願者のみ）

- ・修士課程言語コミュニケーション・グローバルスタディーズ専攻出願者は、TOEIC® L&R 730点、TOEFL® (PBT) 550点、または(iBT) 80点、IELTS™ 6.0のいずれかを満たすスコアを提出してください。TOEIC® L&RおよびTOEFL® (PBT, iBT) については、外部テストの試験日が、2019年4月1日以降のものに限ります（本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要。また、第一言語が英語の者、卒業（見込み）の高等教育における学習言語が英語の者は必要ありません）。TOEIC® L&R IPテスト（オンライン含む）は含みません。
- ・博士後期課程グローバルスタディーズ専攻出願者は、TOEFL® (PBT) 600点または(iBT) 100点、IELTS6.5のいずれかを満たすスコアを提出してください。TOEFL®のスコアを用いる場合は、公式スコア票（Official Score Report）または受験者控用のスコアレポート（Test Taker Score ReportまたはExaminee Score Report）のいずれかを提出してください。TOEFL iBT®テストはTest Dateスコアに限ります（「MyBest™ scores」は利用できません）。

(6) 推薦書

経済学研究科修士課程出願資格<sup>(1)</sup>、または博士後期課程の場合（様式自由）

該当する本人の学力に詳しい大学教員、もしくはそれに準ずる研究者3名以上によるもの...各1通 合計3通

経済学研究科修士課程出願資格<sup>(2)</sup>の場合（様式自由）

推薦機関の長によるものと出願者の学力に詳しい教員によるもの...各1通 合計2通

（なお、本学専任教員による推薦の場合は機関長の推薦書は不要）

理工学研究科博士後期課程の場合（本学所定用紙 様式B）

本研究科専任教員による修士課程修了相当の学力認定を含むもの、および該当する本人の学力に詳しい大学教員またはそれに準ずる研究者（2名以上）によるもの...各1通、合計3通以上。日本語もしくは英語

国際学研究科の場合（様式自由）

- ・修士課程／国際文化学・言語コミュニケーション<sup>1</sup>専攻  
推薦書1名分（様式自由）  
本人の学歴、職歴、ならびに予定されている研究内容に詳しい者が作成すること。
- ・修士課程／グローバルスタディーズ専攻<sup>1</sup>  
推薦書2名分（様式自由）  
本人の学歴、職歴、ならびに予定されている研究内容に詳しい者が作成すること。
- ・博士後期課程／国際文化学・グローバルスタディーズ<sup>1</sup>専攻  
推薦書2名分（様式自由）  
本人の学歴、職歴、ならびに予定されている研究内容に詳しい者が作成すること。

1 本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要

- (7) **経費支弁に関する書類（理工学研究科出願者のみ）**  
 国費留学生奨学金等の採用証明書（コピー可）、または3ヶ月以内に発行された銀行の残高証明書（130万円以上、コピー不可）
- (8) **研究計画書（本学所定用紙）（国際学研究科出願者のみ）**  
 国際学研究科は以下の提出条件にしたがってください。  
 [ 修士課程 ]  
 ・国際文化学専攻……………日本語1部（本学所定用紙）  
 ・グローバルスタディーズ専攻…英語1部（本学所定の英語対応用紙）  
 ・言語コミュニケーション専攻…日本語および英語各1部（本学所定の日本語および英語対応用紙）  
 [ 博士後期課程 ]  
 ・国際文化学専攻……………日本語1部（本学所定用紙）  
 ・グローバルスタディーズ専攻…英語1部（本学所定の英語対応用紙）
- (9) **研究論文等**  
**経済学研究科（博士後期課程のみ）**  
 日本語または英語による研究論文（A4サイズ、和文：12,000字程度、英文：5,000words程度、ワープロ可）  
**理工学研究科**  
 修士論文のコピーまたは修士論文に相当する学術論文（修士課程修了見込の者は修士論文草稿）を提出してください。  
 仮綴りまたはファイルしたものを提出してください。  
 論文等の出願書類が本学所定の出願用封筒に封入できない場合は、本学所定の出願用封筒の様式に沿って、市販の封筒にて出願期間に簡易書留・速達で郵送してください。  
 日本語による要旨（1,600字程度）または英語による要旨（800words程度）を併せて提出してください。  
**国際学研究科**
- |  |
|--|
| 修士課程出願者<br>大学の卒業論文・卒業研究（未完成の場合は現在作成中のもの）またはこれまでに作成した学術的なレポートを1点（字数制限なし）。なお、新規に作成していただいても構いません。<br>国際文化学専攻出願者は、提出する論文等が日本語以外の場合は、日本語の要旨（様式自由、800字程度）も併せて提出してください。<br>グローバルスタディーズ専攻出願者は、英語に限ります。<br>言語コミュニケーション専攻出願者は、日本語または英語に限ります。   |
| 博士後期課程出願者<br><b>国際文化学専攻出願者</b><br>次の および を提出すること<br>修士論文（コピー）2部（未完成の場合は現在作成中のもの）<br>なお、修士論文がない場合は、これに準じる論文または著作物<br>修士論文要旨を次の要領にて提出すること。（修士論文がない場合も、これに準じる要旨を提出すること）<br>日本語の修士論文の場合は、英語による要旨を400words程度<br>日本語以外の修士論文の場合は、日本語による要旨（800字程度）<br><b>グローバルスタディーズ専攻出願者</b><br>大学院修士課程において作成した英語による修士論文（未完成の場合は、現在作成中の物）またはこれまでに作成した学術的な英文レポートを1点（文字数制限なし） |
- (10) **出願票（本学所定用紙）（国際学研究科出願者のみ）**  
 ・修士課程言語コミュニケーション・グローバルスタディーズ専攻出願者のうち、本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要  
 ・修士課程グローバルスタディーズ専攻、言語コミュニケーション専攻出願者、博士後期課程グローバルスタディーズ専攻出願者は本学所定の英語対応用紙を提出してください。
- (11) **住民票の写し（国際学研究科グローバルスタディーズ専攻国内出願者のみ）**

# 特別留学生 学科試験方式

特別留学生とは、外国の国籍を有する者で、学部・研究科において特定の科目を履修する目的で入学する者です

## 出願資格

正規留学生（学科試験方式）に準じます。

詳細は、大学への出願者は13ページ、大学院への出願者は15ページ参照。

## 選考方法

募集学部	法学部 国際学部（国際文化学科対象）
募集研究科	法学研究科
選考方法	1次審査（受験資格審査）および2次審査（学科試験）を実施します。

### 1次審査（受験資格審査）

審査内容	正規留学生（学科試験方式）に準じます。 大学への出願者は13ページ、大学院への出願者は17ページ参照。
結果通知	正規留学生（学科試験方式）に準じます。 大学への出願者は13ページ、大学院への出願者は17ページ参照。

### 2次審査

学部	試験会場	説明	面接
法学部	龍谷大学深草キャンパス	10:10～10:30	10:30～
国際学部			
国際文化学科			
研究科	試験会場	説明	口述試験
法学研究科修士課程	龍谷大学深草キャンパス	10:25～10:45	10:45～

試験室は当日掲示します。

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

合否判定：上記試験および出願書類を総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日を欠席扱いとし、合否の判定対象となりません。

## 出願書類

出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。

正規留学生（学科試験方式）に準じます。詳細は大学への出願の場合14ページ、大学院へ出願の場合18～19ページ参照。

- (1) 入学願書（本学所定用紙）
- (2) 出願シート（本学所定用紙）
  - ・ 出願入試区分、出願学部・学科、研究科・専攻コードは29ページの「コード一覧」をご確認ください。
  - ・ 国籍コードは30ページの「国籍コード一覧」をご確認ください。写真は入学が許可された場合には、学生証や教務情報等に使用します。本学を卒業するまで使用するのに相応しい服装とします（制服以外が望ましい）。  
入学手続きの際に写真の差し替えが可能です。  
入学後に、学生証の写真を書き換える場合は、有償となります。
- (3) 卒業証明書・成績証明書（いずれも原本）
- (4) 「日本語能力試験」（公益財団法人日本国際教育支援協会 / 国際交流基金）1級またはN1の合否を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」（学部出願者のみ）
- (5) 推薦書（本学所定用紙 様式A）（国際学部国際文化学科出願者のみ）
- (6) 住民票の写し

## 在学期間・履修科目数

特別留学生の在籍期間は1年間です。

法学部 国際学部 （国際文化学科）	32単位（前期16単位・後期16単位）以上
法学研究科	32単位以上

# 特別留学生 書類審査方式

特別留学生とは、外国の国籍を有する者で、学部・研究科において特定の科目を履修する目的で入学する者です

## 出願資格

【社会学研究科修士課程】

出願資格

次の から のすべてに該当する者

外国の国籍を有する者で、学校教育における16年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む）を修了した者（修了見込みの者）または大学の学部と同等の教育機関を修了した者（修了見込みの者）

○自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者

○外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）

○外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者

○日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。）

○外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEAレベルを保有する者

○国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者を含む。

日本語能力試験1級またはN1に合格した者、または同等の日本語能力を有する者

本学と交流協定を締結している機関から推薦を得た者、または本学専任教員の推薦を得た者

## 選考方法

出願書類による総合評価

## 出願書類

出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。

下記のうち特に説明のないものは大学院学科試験方式の出願書類（18～19ページ）を参照。

(1) **入学願書（本学所定用紙）**

必ず出願者本人が日本語で正確に記入してください。

出願者氏名は、住民票またはパスポートに記載されている名前を記入してください。

(2) **出願シート（本学所定用紙）**

・出願入試区分、出願学部・学科、研究科・専攻コードは29ページの「コード一覧」をご確認ください。

・国籍コードは30ページの「国籍コード一覧」をご確認ください。

写真は入学が許可された場合には、学生証や教務情報等に使用します。本学を修了するまで使用するのに相応しい服装とします（制服以外が望ましい）。

入学手続きの際に写真の差し替えが可能です。

入学後に、学生証の写真の差し替える場合は、有償となります。

(3) 出身大学の卒業証明書・成績証明書(いずれも原本)

**注意事項**

卒業(修了)見込の場合、卒業(修了)見込証明書を提出してください。

成績証明書は、在学期間全ての成績を証明したものを提出してください。

中国の大学または大学院を卒業(修了)した場合は、その卒業(修了)証明書に「中国高等教育学生信息网(学信網)」(<https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>)へ登録してダウンロードした「教育部學歷證書電子注冊備案表」のPDFファイルを印刷したものを添付してください。

中国の大学または大学院を卒業(修了)見込みの場合は、その卒業(修了)見込証明書に「中国高等教育学生信息网(学信網)」(<https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>)へ登録してダウンロードした「教育部学籍在線驗証報告」のPDFファイルを印刷したものを添付してください。

「公証書」は不可

日本語または英語以外で書かれている場合は、駐日外国公館・在外公館等の公的機関による法的翻訳または在籍校(日本語学校を含む)による公印つき翻訳(日本語または英語)を添付してください。証明書のコピーは一切不可です。

(4) 語学に関する書類

「日本語能力試験」の1級またはN1の合否を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」、または出願者の日本語能力に詳しい教員が作成した1級またはN1と同等の能力を示す日本語能力認定書(本学所定用紙)

(5) 推薦書(本学所定用紙 様式B)

出願資格に該当する本学と交流協定を締結している機関長によるものと、出願者の学力に詳しい教員によるものの両方。なお、本学の専任教員推薦の場合は機関長の推薦書は不要。

(6) 住民票の写し

日本国内居住者のみ提出してください。「国籍」「在留資格」「在留期間」「在留期間の満了日」「在留カード番号」が記載されるよう、発行元に依頼してください。試験実施日が在留期間満了日より前であるものに限り、世帯については「世帯全員」「世帯一部」のどちらを選択しても構いません。

(7) 研究計画書(本学所定用紙)

(8) 研究論文等

大学の卒業論文・卒業研究(未完成の場合は、現在作成中のもの)またはこれまでに作成した学術的なレポートを1点(コピー)

## 在学期間・履修科目数

特別留学生の在籍期間は1年間です。

社会学研究科

32単位以上

## 出願する入試区分

<学部／正規留学生>

GC	1年次入学学科試験方式
G3	1年次入学学科試験方式（国内指定校 国際学部）

<学部／特別留学生>

GD	学部特別留学生
----	---------

<大学院／正規留学生>

GT	修士課程学科試験方式
GV	修士課程書類審査方式（経済学・国際学研究科）
GW	博士後期課程学科試験方式（法学・経済学・理工学・国際学研究科）
GX	博士後期課程書類審査方式（経済学・理工学・国際学研究科）

<大学院／特別留学生>

GU	修士課程学科試験方式（法学研究科）
G6	修士課程書類審査方式（社会学研究科）

## 出願する学部・学科、研究科・専攻コード

D1	法学部 法律学科
T1	国際学部 国際文化学科
L1	法学研究科 法律学専攻
M1	経済学研究科 経済学専攻
O1	社会学研究科 社会学専攻
O2	社会学研究科 社会福祉学専攻
P1	理工学研究科 数理情報学専攻
P2	理工学研究科 電子情報学専攻
P3	理工学研究科 機械システム工学専攻
P4	理工学研究科 物質化学専攻
P5	理工学研究科 情報メディア学専攻
P6	理工学研究科 環境ソリューション工学専攻
Z1	国際学研究科 国際文化学専攻
Z2	国際学研究科 グローバルスタディーズ専攻
Z3	国際学研究科 言語コミュニケーション専攻
S1	政策学研究科 政策学専攻

## 国籍コード一覧

出願シートの「国籍コード」欄に該当するコードを記入してください。

AD : アンドラ公国	IQ : イラク共和国
AE : アラブ首長国連邦	IR : イラン・イスラム共和国
AF : アフガニスタン・イスラム国	IS : アイスランド共和国
AG : アンティグアバーブーダ	IT : イタリア共和国
AL : アルバニア共和国	JM : ジャマイカ
AM : アルメニア共和国	JO : ヨルダン・ハシェミット王国
AO : アンゴラ共和国	KE : ケニア共和国
AR : アルゼンチン共和国	KH : カンボジア王国
AS : サモア独立国	KP : 朝鮮民主主義人民共和国
AT : オーストリア共和国	KR : 大韓民国
AU : オーストラリア連邦	KW : クウェート国
AW : アルバ島	LA : ラオス人民民主共和国
AZ : アゼルバイジャン共和国	LK : スリランカ民主社会主義共和国
BD : バングラデシュ人民共和国	MK : マケドニア旧ユーゴスラビア共和国
BE : ベルギー王国	ML : マリ共和国
BR : ブラジル連邦共和国	MM : ミャンマー連邦
BY : ベラルーシ共和国	MN : モンゴル国
BZ : ベリーズ	MY : マレーシア
CA : カナダ	MX : メキシコ合衆国
CL : チリ共和国	NL : オランダ王国
CN : 中華人民共和国	NP : ネパール
CV : カーボヴェルデ共和国	NZ : ニュージーランド
DE : ドイツ連邦共和国	PE : ペルー共和国
DJ : ジブチ共和国	PH : フィリピン共和国
DK : デンマーク王国	PT : ポルトガル共和国
DM : ドミニカ国	PY : パラグアイ共和国
DO : ドミニカ共和国	RU : ロシア連邦
DZ : アルジェリア民主人民共和国	SC : セルビア・モンテネグロ
EG : エジプト・アラブ共和国	SE : スウェーデン王国
ES : スペイン王国	SG : シンガポール共和国
ET : エチオピア連邦民主共和国	SN : セネガル共和国
FI : フィンランド共和国	TH : タイ王国
FJ : フィジー諸島共和国	TR : トリニダード・トバゴ共和国
FR : フランス共和国	TU : トルコ共和国
GB : 英国	TV : ツバル
GN : ギニア共和国	TW : 台湾
GR : ギリシャ共和国	TZ : タンザニア連合共和国
HK : 香港	UA : ウクライナ
HU : ハンガリー共和国	US : アメリカ合衆国
ID : インドネシア共和国	UY : ウルグアイ東方共和国
IE : アイルランド	UZ : ウズベキスタン共和国
IL : イスラエル国	VN : ベトナム社会主義共和国
IN : インド	

# 奨学金制度について

本学の正規留学生（学部・短期大学部・大学院）を対象とした「龍谷大学外国人（留学生）学費援助奨学金」ならびに各種民間団体の奨学金について案内します。

## 1. 「龍谷大学外国人（留学生）学費援助奨学金」について

龍谷大学では、外国人留学生の経済的困難を緩和するためにこの制度を設けております。

### (1)奨学金額（減免方式）

授業料の40%を減免します。適用希望申請者が入学試験に合格した場合、入学手続に必要な納入金額は、学費援助奨学生として採用された減免後の学費とします。

### (2)対象となる資格

次の ~ の全ての資格を満たしている者がこの制度を利用できます。

- ①本学の学部、大学院、または短期大学部における正規課程に在籍していること
- ②在留資格が「留学」であること（もしくは「留学」に変更手続を行うこと）
- ③私費外国人留学生であること

### (3)申請方法

出願時に外国人留学生入学試験出願シートの「外国人（留学生）学費援助奨学金」適用申請欄にマークする。  
入学後、必要な書類を提出する（合格通知の際に詳しく記載します）

### (4)採用の決定

正しく申請されているか確認の上、入学後に本学奨学委員会の議を経て、学長が決定します。

### (5)注意事項

申請にあたっては、次のことに同意していることを前提とします。

申請に虚偽がある場合や正しく申請していない場合、入学後に受給資格を喪失した場合には、同奨学金の減免制度の適用が取り消され、不足分の学費（授業料40%）を追加納入いただきます。

入学後、次のいずれかに該当する場合、受給資格を喪失します。

1. 出席日数等を勘案し、学業成績が不振で成業の見込みがないと認められる者
2. 入学金、授業料等の負担を除き、仕送り平均月額が90,000円を超える者
3. 留年している者（ただし、病気等やむを得ない事情と奨学委員会が判断した者を除く。）
4. 休学している者



## 2. 奨学金制度 (2020年度実績)

奨学金名称		支給額	採用人数	
龍谷大学	外国人(留学生)特別奨学金	研究科(月額) 48,000円	17名	
		学部(月額) 48,000円	37名	
		別科(月額) 22,500円	18名	
	沼田奨学金(学業奨学金)	研究科(月額) 100,000円	13名	
		学部(月額) 80,000円	2名	
JASSO	(公財)日本学生支援機構 私費外国人留学生学習奨励費	研究科(月額) 48,000円	1名	
		学部(月額) 48,000円	7名	
		別科(月額) 48,000円	0名	
			新規	継続
その他	(公財)加藤朝雄国際奨学財団奨学金	博士課程(月額) 150,000円	0名	0名
		修士課程(月額) 130,000円	0名	0名
	(公財)平和中島財団 外国人留学生奨学生	研究科(月額) 100,000円	0名	0名
		学部(月額) 100,000円	0名	0名
	(公財)日本国際教育支援協会 三菱商事留学生奨学金	研究科(月額) 150,000円	0名	0名
		学部(月額) 120,000円	1名	1名
	(公財)ロータリー-米山記念奨学会	研究科(月額) 140,000円	0名	1名
		学部(月額) 100,000円	0名	0名
	(公財)朝鮮奨学会	博士課程(月額) 70,000円	0名	0名
		修士課程(月額) 40,000円	0名	0名
		学部(月額) 25,000円	0名	1名
	外国人留学生びわこ奨学金	研究科(月額) 20,000円	0名	0名
		学部(月額) 20,000円	1名	0名
	橋本循記念奨学金	学部(月額) 100,000円	0名	0名
		研究科(月額) 100,000円	0名	0名
	(公財)京都市国際交流協会張鳳俊奨学金	研究科(月額) 50,000円	0名	0名
	JEES日本語教育普及奨学金(日能)	研究科(月額) 50,000円	0名	0名
		学部(月額) 50,000円	0名	0名
JEES留学生奨学金(修学)	研究科(月額) 40,000円	0名	0名	
	学部(月額) 40,000円	0名	0名	

# お問い合わせ先一覧

〈留学生入試全般・入国管理局への龍谷大学代理申請に関するお問い合わせ〉

龍谷大学 グローバル教育推進センター事務局 〒612-8577 (専用郵便番号 / 住所表記不要)

TEL : 075(645)7898 FAX : 075(645)2020 E-MAIL : r-globe@ad.ryukoku.ac.jp

〈在留資格・その他の各学部・大学院へのお問い合わせ〉

文学部・文学研究科・実践真宗学研究科	TEL 075(343)3317		
経済学部・経済学研究科	TEL 075(645)7894		
経営学部・経営科学研究科	TEL 075(645)7895		
法学部・法学研究科	TEL 075(645)7896		
政策学部・政策学研究科	TEL 075(645)2285	月曜日・水～金曜日	9:00～11:45 12:45～17:00
国際学部・国際学研究科	TEL 075(645)5645	火曜日	10:45～11:45 12:45～17:00
短期大学部	TEL 075(645)7897		
先端理工学部・理工学研究科	TEL 077(543)7730		
社会学部・社会学研究科	TEL 077(543)7760		
農学部・農学研究科	TEL 077(599)5601		

〈「日本語能力試験」に関するお問い合わせ〉

財団法人日本国際教育支援協会 日本語教育普及課日本語能力試験係

TEL : 03(5454)5215 <https://www.jees.or.jp/>

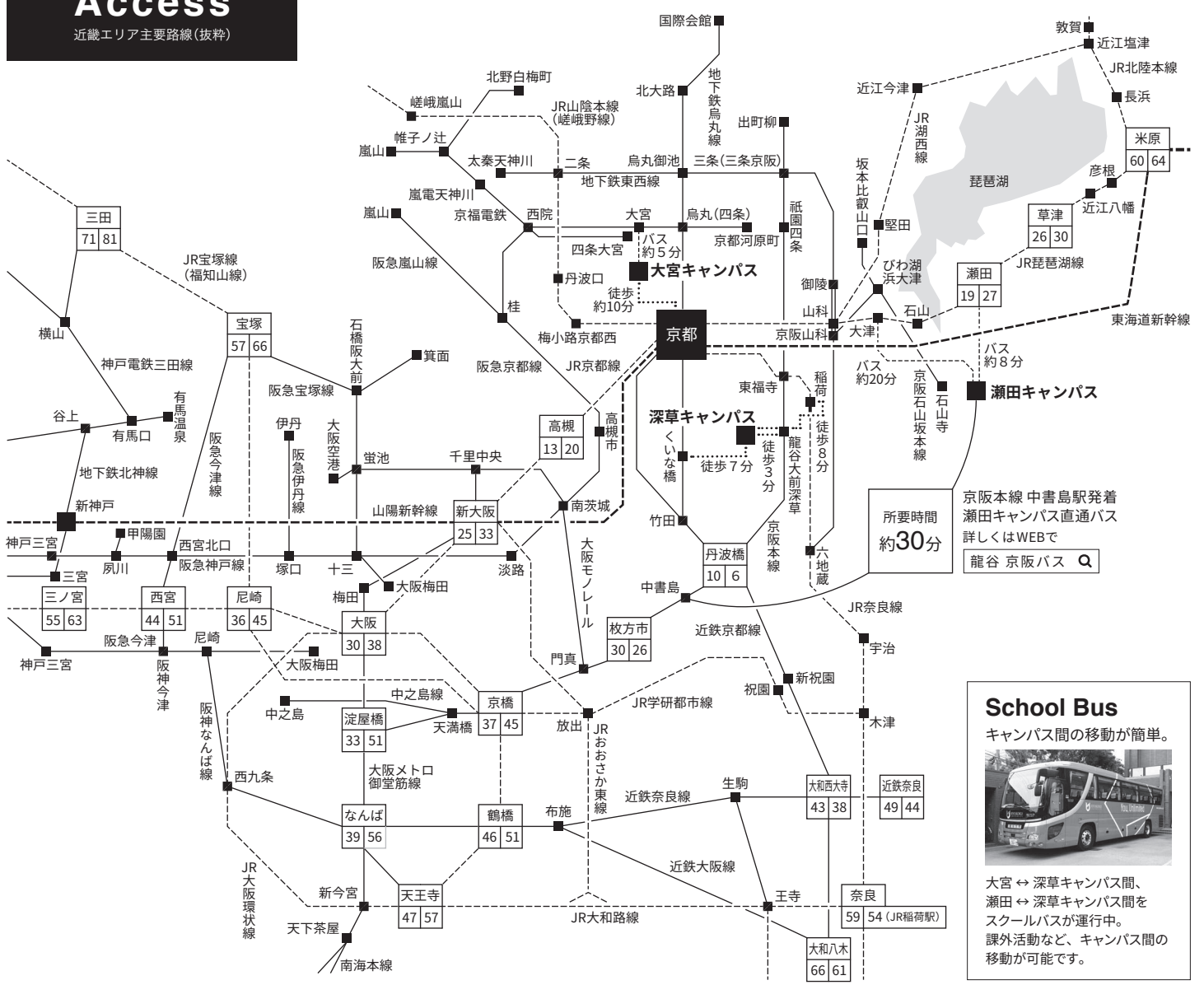
〈「日本留学試験 (EJU)」に関するお問い合わせ〉

独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課

TEL : 03(6407)7457 <https://www.jasso.go.jp/eju/>

# Access

近畿エリア主要路線(抜粋)



所要時間  
約30分

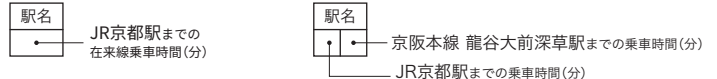
京阪本線 中書島駅発着  
瀬田キャンパス直通バス  
詳しくはWEBで  
龍谷 京阪バス

### School Bus

キャンパス間の移動が簡単。

大宮 ↔ 深草キャンパス間、  
瀬田 ↔ 深草キャンパス間を  
スクールバスが運行中。  
課外活動など、キャンパス間の  
移動が可能です。

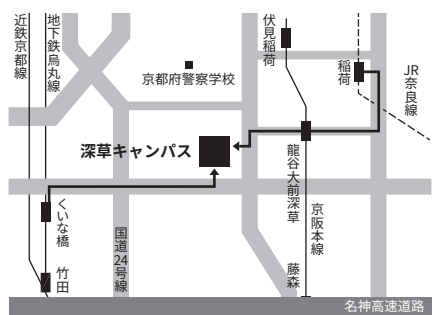
駅名に付記した数字は、JR京都駅、京阪本線 龍谷大前深草駅までの乗車時間の目安時間を記載しております。乗り換え等にかかる時間は含まれておりません。また、経路・時間帯によって変動いたします。



### 深草キャンパス (京都市)

(設置学部・大学院)

文学部(1・2年生) 経済学部 経営学部 法学部  
政策学部 国際学部 短期大学部  
法学研究科 経済学研究科 経営学研究科  
政策学研究科 国際学研究科

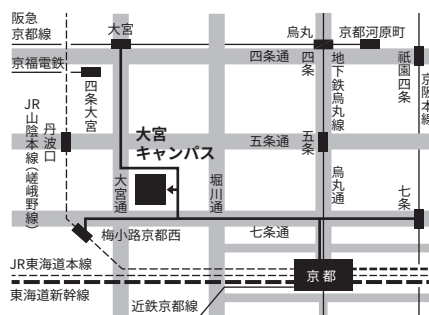


JR奈良線 稲荷駅下車、南西へ徒歩8分  
京阪本線 龍谷大前深草駅下車、西へ徒歩3分  
京都市営地下鉄烏丸線 くないな橋駅下車、東へ徒歩7分

### 大宮キャンパス (京都市)

(設置学部・大学院)

文学部(3・4年生)  
文学研究科 実践真宗学研究科

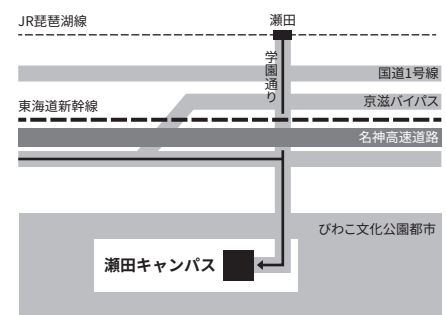


JR東海道本線・近鉄京都線 京都駅下車、徒歩10分  
JR山陰本線(嵯峨野線) 梅小路京都西駅下車、徒歩10分  
阪急京都線 大宮駅より市バス乗車5分、「七条大宮」下車すぐ  
京阪本線 七条駅下車、徒歩20分

### 瀬田キャンパス (滋賀県大津市)

(設置学部・大学院)

先端理工学部 社会学部 農学部  
社会学研究科 理工学研究科 農学研究科



JR琵琶湖線 瀬田駅下車、産産バス8分  
JR琵琶湖線 大津駅下車、近江バス20分  
京阪本線 中書島駅下車、京阪京都交通バス30分

